

令和3年度佐久地域定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録（要旨）

日 時：令和3年11月18日（木）  
午後1時30分～午後3時30分  
場 所：佐久市役所8階大会議室

- 1 開 会
- 2 自己紹介
- 3 会長あいさつ
- 4 議 事

会 長	それでは、会議事項「(1) 佐久地域定住自立圏について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>【資料1】「定住自立圏構想について」説明</b>
会 長	ここまでの説明につきまして、委員の皆様からご質問などがありましたらお願いします。  (意見無し)
会 長	特に無いようなので、引き続き会議事項「(2) 第二次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの進捗管理について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>【資料2】「第二次佐久地域定住自立圏共生ビジョン(変更案)」について説明</b>
会 長	ただいまの説明につきまして、皆様からご意見などありましたらお願いしたいと思います。  (意見無し)
会 長	それでは、第二次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの変更につきましては、書面決議のとおりといたします。 引き続き会議事項「(3) 第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの策定について」事務局から説明をお願いします。

事務局	<p>【資料3】「第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョン（案）」について説明</p> <p>※補足 <u>資料の見方</u></p> <p>事業費欄が一行の事業は、中心市である佐久市の事業費見込額を掲載しています。（例：P17 事業番号1）</p> <p>なお、事業費が0千円となっている事業は、経常的な経費によるもの、または予算の執行を伴わずに取組を推進する予定のものです。（例：P17 事業番号2）</p> <p>また、事業費を掲載していない関係市町村においても、中心市等と連携して取組を行っている場合があります。</p>
会長	<p>ただいまの説明につきまして、皆様からご意見などありましたらお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>第二次共生ビジョン（P6）と第三次共生ビジョン（P7）の【佐久地域における中長期的な人口目標】を見比べると、R22の圏域人口（及び生産年齢人口）の目標値が若干異なりますが、これは各市町村で将来人口の見直しが行われたという理解でよいでしょうか。</p>
事務局	<p>経過とすると、平成27年の国勢調査をもとに各市町村が人口推計を行い策定した「人口ビジョン」の数値を足し上げ、第二次共生ビジョンの圏域人口目標を決定しております。</p> <p>今回、令和2年の国勢調査をもとに将来人口を推計し直した市町村もございましたので、第三次共生ビジョンの目標値の見直しを図っております。</p>
委員	<p>歯科医師会です。資料3-2（第三次共生ビジョンに係る意見）に記載の意見No. 6について、補足させていただきます。</p> <p>この2年間、厚労省及び長野県議会に対し、オーラルクリニックという形で「口の脆弱と予防」という項目について、医科歯科連携、薬科連携、自治体での啓発活動、情報発信をお願いしてきました。ぜひ協力をお願いします。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。所管課にも伝えたいと思います。</p>

委員	<p>小諸北佐久医師会です。資料3-2、意見No. 5について、「今後県が策定する計画に基づき、圏域住民の安心に向けた取組について、県や関係自治体と連携し、推進を図っていきます」と回答がありますが、国、県、地方公共団体、保健所（佐久保健福祉事務所）が取組の方向性を定めて進めていくものかと思えます。</p> <p>小諸北佐久医師会は、その方針によって各医療機関または医師会全体として何をしていくかを決めていきますので、佐久保健福祉事務所からの情報を捉え、取組を推進していきたいと思っています。</p>
委員	<p>佐久保健福祉事務所です。資料の回答にあるとおり、基本的には県、関係自治体、医師会が連携し、課題解決に向けた各種取組を推進していくこととなります。</p>
委員	<p>長野県保育連盟です。発達障がい児の支援事業について、障がいを持つ子どもが年々増加している中で、佐久市では相談業務を実施し、多くの相談が寄せられていると聞いていますが、障がい児の増加に比して配当予算及び担当人員が少なく感じます。適正な保育環境、家庭環境を保てるよう、必要な支援を検討してほしいです。</p>
事務局	<p>例えば、資料3-1、P23の事業番号9（障がい児発達支援事業）は、事業費150万円程度となっておりますが、記載のとおり、あくまでも心理専門職等による個別相談や講演会、研修会などの開催に係る経費であり、各市町村においては、これ以外にも予算を確保し障がい児の発達支援に資する各種取組を推進しておりますので、引き続き皆様からご意見等を頂戴できれば幸いです。</p>
委員	<p>資料3-1、P22の事業番号8（病児・病後児保育の広域化事業）について、KPIで利用児童数の実績をみることとなっておりますが、具体的にどこの施設を活用する想定でしょうか。</p>
委員	<p>佐久市の病児保育については、浅間総合病院傍の旧医師住宅を改修した施設で、また、病後児保育については、岸野保育園で実施しています。</p> <p>最近では、小諸市でも始まっていると聞いています。（R3年8月22日～病児・病後児保育施設「こもろスマイル園」オープン。）</p>

委員	<p>佐久校長会です。2点あります。</p> <p>1点目、資料3-1、P24の「不登校児童生徒等の支援体制の充実」に係るKPIについてです。不登校の子どもの数は年々増加していて、在籍率1.0%まで下げていくためには、教育現場サイドの相当な努力が求められます。当然取り組まなければならないことではありますが、文科省からは「不登校児童生徒の支援の在り方としては、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指す必要がある」といった通知が出ています。(R元年10月25日発出。)</p> <p>目標値の達成と、それに向けた社会的な自立を促すような取組の推進が必要ではないかと思えます。</p> <p>2点目、ICT教育の推進について、現在、児童生徒にはひとり1台タブレット端末が配布されています。これはどういう状況かという、普段の授業中に、鉛筆と同じようにそれぞれの手元にあるということです。したがって、この状況を大前提としまして、ICT教育の「授業時間」が問題なのではなく、「どう使っていくか、どういった学びになっているか」及び「情報モラル」をセットで進めていくことが必要だと思われます。</p>
事務局	<p>1点目の「不登校児童生徒の社会的な自立」という定性的な目標については、数値による目標を立てられるのか、検討させていただき、(本分野に関わらず、全体的に目的を捉えることは重要であると考えておりますので、)できるだけ明確にしていきたい考えです。</p> <p>2点目のICT教育の推進についても、昨年度タブレット端末の導入を推進したことから現在アウトプットの目標になっておりますが、ご意見のとおり、アウトカム(成果)の目標とする必要がございますので、検討させていただきます。</p>
委員	<p>長野県情報サービス振興協会です。</p> <p>コロナ禍に限りませんが、ICTの普及が進むと犯罪に巻き込まれる可能性が上がっていきます。</p> <p>当協会は、情報通信研究機構等と連携し、毎年小中学生を中心に、ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクールを開催し、セキュリティに係る標語、ポスター、4コマ漫画を募集し、表彰していますが、佐久地域からは応募が少ない状況です。</p>

	<p>この取組だけが情報モラル・セキュリティの教育に効果のあるものでもありませんし、学校現場が忙しいのは承知していますが、自治体から取組についての情報提供等をしてもらえるとよいと思います。</p>
委員	<p>東信教育事務所です。</p> <p>皆さんの意見にもありましたとおり、K P I という目標の数値化は難しいのかなと思います。数字よりも不登校児童・生徒の「行き場の充実」を重要と捉え、K P I の設定を検討してほしいです。</p>
委員	<p>佐久地域森林組合連絡協議会です。2点あります。</p> <p>1点目、資料3-1、P35の「森林病虫害被害防止対策」に関して、K P I が「松くい虫被害木伐倒・くん蒸処理量」となっていますが、現状値2,825 m<sup>3</sup>に対して目標値3,500 m<sup>3</sup>と、裏を返せば被害が拡大していつているという目標になってしまっています。</p> <p>P28の「鳥獣害防止総合対策」のように、被害額をK P I として、減少させていく計画にした方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>2点目、資料3-2、意見No. 15についてです。</p> <p>樹種転換を図る、と回答されていますが、樹種転換に伴い大量の木材が発生しますので、公共施設にチップボイラーを設置するなどして消費を図られてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>予算面等考慮しつつ、検討させていただきます。</p>
会長	<p>県としても、ゼロカーボンの実現に向けて取り組んでいかなければならないことから、林業大学校男子寮棟の建て替えに当たってペレットボイラーを導入しました。</p>
委員	<p>ゼロカーボンについて、世界的に動きが出ていて、各国、各市町村、それぞれの地域ごとに取り組まれているところかと思います。このエネルギー問題は、生活全てに関わってくるものであり、特に農業分野については「自然再生エネルギーの活用」を計画内に明記していただきたいです。</p> <p>また、森林整備についても、カーボンニュートラルのことを明記していただきたいです。</p>

委員	<p>資料3-1、P34の「農業情報ネットワークの構築」に関して、就農を希望されてIターン、Uターンにより移住されてくる方が増えていますが、空き地や空き家がある一方で、なかなか実際の移住に結びついていない（住まいが見つからない）と耳にします。</p> <p>そこで、農業情報ネットワークで移住希望者向けに住宅情報の提供を推進していただきたいです。</p>
委員	<p>小諸商工会議所です。3点あります。</p> <p>1点目、資料3-1、P48の「道路等交通インフラの整備」について、KPIに中部横断自動車道の整備に係る要望活動回数を設定されていますが、現状値の3回から15回に増やしていくことについて補足の説明をいただきたいです。また、全線開通が進まない理由があれば教えてください（ネックになっていることを明確にして、的確な対応をお願いしたいです）。</p> <p>2点目、資料3-2、意見No. 4についてです。本ビジョン案の取組に商工業分野が入っていないことについて、広域で取り組んでいくには難しいものであるとも思いますが、例えば、現在、佐久産業支援センター（SOIC）で進められているような、退職した技術者のスキルやノウハウを地域の企業に活用するといった取組を地域の皆さんと一緒に進めていき、さらなる発展を目指すというのはいかがでしょうか。</p> <p>3点目、圏域人口目標について、今後減少傾向が続いていくとの見通しを立てられていますが、せっかく取り組んでいくのであれば、より主体的に、圏域市町村間での議論等も行っていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>1点目の中部横断自動車道の関係につきましては、個別の地域単位では解決できない課題であるため、地域で連携し、各種手法を用いて国への要望活動に取り組んでいく必要があると考えております。また、取組内容を工夫するとともに、利用促進についても進めてまいります。</p> <p>人口増に向けた施策につきましては、これまでも自治体ごとに取り組むを推進してきたところではございますが、ご意見を参考に、本定住自立圏や広域連携の取組の中で検討させていただきたいと思っております。</p>

委員	<p>長野県商工会連合会です。地域の魅力を高めるためには、商工業のほか、観光や農業についても取り組んでいくことが重要だと思います。関係人口の観点からは、単なる農業だけでなく、観光農業なども効果的かと思しますので、取組を推進されたいです。</p>
委員	<p>千曲バスです。地域交通ネットワークについて、佐久地域では自家用車がメインとなっていますが、移住（希望）者にとっては、鉄道、バス、タクシー等の公共交通が充実しているかどうかは重要な要素だと思います。</p> <p>バス運転手の不足と高齢化は深刻な課題であり、また、佐久-立科間は通っているものの、佐久-小諸、さらには東御までとなると、まちを跨ぐため各自自治体に予算を取ってもらえないといった状況があります。</p> <p>ビジョンの中では公共交通の利用者数増加に向け、目標を立てられていますが、当社としましては、こういった現状との乖離を踏まえ、将来を見据えながら意見を出していきたいと思えます。</p>
会長	<p>県としても、地域公共交通の分野には注力していく考えです。長野県公共交通活性化協議会の場を活用し、引き続き議論を深めていきたいと思えます。</p>
委員	<p>長野県スポーツ協会です。資料3-1、P54の「社会教育施設の広域的活用」について、地域内には素晴らしい施設が整備されていますが、子どもたちが小さいころから本物に触れるということが重要だと考えています。</p> <p>施設の有効活用のため、大会を誘致し、子どもたちが一流のプレーを見る機会を作っていただきたいのですが、大きな大会を誘致するには、選手、スタッフ、サポーターの宿泊場所が不足しているという課題があります。2028年には、長野県で国体が予定されており、佐久市でも柔道、空手、アーチェリーの大会が開かれるため、心配に思っています。</p>
委員	<p>東信教育事務所です。長野県スポーツ協会さんのご意見に併せて、KPIが「イベント、スポーツ大会等の共同開催回数」となっていますが、公民館活動やスポーツの団体競技の共同育成、地域の一体的な取組等によって、機運の高まりを醸成してほしいです。</p>

事務局	<p>皆様、貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>共生ビジョンは、定住自立圏として何に取り組んでいくべきかという観点から作ってきたものです。</p> <p>本懇談会における委員の皆様からのご意見を受けて、定住自立圏として生きがい豊かな地域を作っていくためにみんなで取り組まなければならないものは何か、改めて検討させていただきたいと思っております。</p>
-----	---

5 その他 特になし

6 閉 会